

国語科 1 学年の学習

1 学習の目標

- (1) 目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決めて集めた材料を整理し、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫して話す能力、必要に応じて記録したり質問したりしながら聞く能力、話題や展開を捉えて話し合う能力を身につけさせるとともに、話したり聞いたりして自分の考えを深めようとする態度を育てる。
- (2) 目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、根拠を明確にしながら、段落の役割などを意識して書く能力を身に付けさせるとともに、文章を書いて考えを深めようとする態度を育てる。
- (3) 文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして読む能力を身に付けさせるとともに、進んで読書をする態度を育てる。

2 学習内容

月	単 元 名	目 標	教 材 名
4	言葉に出会うために	表現の豊かさを味わい、語句の意味を的確に捉える	詩「野原はうたう」 「声を届ける・書き留める・調べる・続けてみよう」
5	1 学びをひらく	場面の展開や描写に着目して、内容を読み取る	小説「花曇りの向こう」 作文「わかりやすく説明しよう」 漢字「漢字の組み立てと部首」
6	2 新しい視点へ	説明の工夫を捉えながら、ものの見方を広げる	説明「ダイコンは大きな根？」 「ちょっと立ち止まって」 言葉「話し言葉と書き言葉」
7	〔硬筆〕楷書の書き方を理解し、筆順・字形を確かめて書く。		
	3 言葉をつなぐ	豊かな表現にふれ、言葉のもつ力を考える	詩「詩の世界」 随筆「空を見上げて」 文法「言葉のまとまりを考えよう」
9	4 つながりの中で	文章の展開に着目して、心情や事実をとらえる	物語「星の花が降るころに」 「大人になれなかった弟たちに…」 記録「シカの『落ち穂拾い』」 漢字「漢字の音訓」 言葉「指示する語句と接続する語句」
10	5 いにしへの心に触れる	古典の文章に出会い、現代とのつながりを考える	古文「いろは歌」「月に思う」 「蓬萊の玉の枝」 漢文「今に生きる言葉」
11	6 論点を捉えて	事実と意見の関係に注意しながら、内容を考える	説明「幻の魚は生きていた」 詩「竹」 文法「言葉の関係を考えよう」
12	〔書き初め〕楷書と仮名の調和を理解して、作品を仕上げる。		
1 2 3	7 自分をみつめて	言葉と心について考えを深め、今までとこれからを見つめる。	小説「少年の日の思い出」 言葉「さまざまな表現技法」 漢字「漢字の成り立ち」 文法「単語の性質を考えよう」 詩「ぼくがここに」

3 評価の方法

次の5つの観点から3段階（ABC）で評価し、その結果を総合的に判断して5段階（54321）の評定を決定します。

国語科の5つの観点	根拠となる学習内容
ア国語に関心や意欲を持ち、進んで表現し、理解しようとする。	授業の取り組み・提出物の内容・定期テストの結果
イ考えを目的や場面に応じて適切に話したり、聞いたりする。	話し合いの取り組み・聞き取りテストの結果・スピーチ・定期テストの結果
ウ考えを相手や目的に応じて適切に文章に書く。	作文課題の内容・定期テストの結果
エ目的に応じて的確に読み取ったり、読書に親しんだりする。	読解課題の内容・定期テストの結果
オ伝統的な言語文化に親しみ、語彙力が豊かで、表現技能を身に付けている。	定期テストの結果・書写の授業の取り組み

※Aの数が4つ以上…5、2つ以上…4 Cの数が2つ以上…2 すべてC…1

※定期テストの結果 85～90%以上の点数…A 50%以上の点数…B 40%以下…C

4 授業の約束

- ①提出物の期限を守る。②言葉遣い、文字を丁寧に正しく。③積極的に自分の意見を発表する。